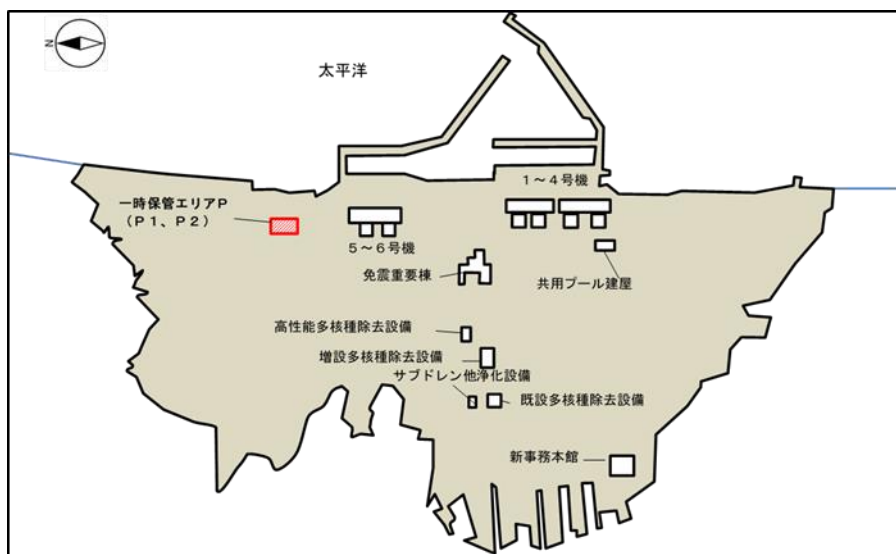


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年7月8日（木）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアP（P1及びP2）
- 3 確認項目  
瓦礫類一時保管エリアP排水枡における全ベータ値上昇事象への対応状況
- 4 確認結果の概要  
昨日に引き続き、瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）P排水枡の放射能分析において、6月29日に採取した検体の全ベータ値が上昇していることが確認された事象への対応状況を確認した。（図1）  
（前回確認：7月7日）
  - ・1cm線量当量率（ガンマ）に比べて70 $\mu$ m線量当量率（ベータ+ガンマ）が有意に高いことが確認された箇所の周囲のノッチタンクについて、前回調査時より養生の範囲が広がり、南側の側面全体と上部がシートで養生されていた。  
また、シートで養生されたノッチタンクの近傍にはゼオライト土嚢が設置されていた。（写真1）
  - ・シートで養生されたノッチタンクの東側にある排水溝及び一時保管エリアP南側排水溝にはゼオライト土嚢が設置されていた。（写真2）（写真3）
  - ・東京電力では、昨日、シートで養生されたノッチタンクのうち2基の天板のハッチ部蓋にずれがあることを確認し、内部及び天板上に水が溜まっていたことから、本日（7月8日）に内部及び上面の水を採取し、分析するなど、引き続き、一時保管エリアP排水枡や排水溝の全ベータ値が上昇した原因を調査していくとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
ノッチタンクの養生の状況  
(前回：7月7日撮影)



(写真1-2)  
同左  
(今回：7月8日撮影)



(写真2)  
ノッチタンクの東側にある排水溝の  
ゼオライト土嚢の設置の状況 (南側  
から撮影)



(写真3-1)  
一時保管エリアP南側排水溝の状況  
(前回：7月7日撮影)



(写真3-2)  
同左  
(今回：7月8日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。